

やすえ こういち
06.安江 耕一さん



安江種苗
種苗生産業

〒052-0116
壮瞥町字南久保内14

年齢 42歳
勤続年数 12年

就業のきっかけ

祖父の代から苗木を育てる種苗生産業を営んでおり、苗畑での作業を家族で手伝ったり、祖父の所有する山に連れて行ってもらって遊んだりして育ったので、子供の頃から樹木が身近な存在でした。

社会勉強という意味もあり、高校卒業後地元を離れいったん就職し、サラリーマン生活を送っていました。

ところが、年齢を重ねるごとに「今の仕事が自分に合っているのだろうか?」「自然の中ででのびのびと働ける仕事の方が自分に合っているんじゃないか?」と疑問に感じるようになりました。そして、地元壮瞥町へUターン、種苗生産業を引き継ぎました。

仕事のやりがい

自然の中で季節を肌で感じながら働けるところは大きな魅力です。また、努力した事が必ず見える形となって自分に返ってくるところも良く、手塩に掛けて育てた分、苗木が出荷される時に達成感がありますし、その苗木が山に植えられた後、成長していく過程も楽しみです。40~50年かけて成長した樹木が再び木材となって私たちの身近なところで使われていると思うと更に嬉しく思います。

また、樹木は公益的機能が強く、酸素を供給したり、災害を防いでくれたり、水源を守ってくれたり、全ての人々が生きていく上で重要な役割を果たしているのです、人の役に立っていると言う点でもやりがいを感じます。



【細やかな苗木の状態の確認が必要】

仕事の大変なところ

苗畑では根気のいる作業が多く、草取りや間引きなど手作業が主で、苗木の出荷も1本ずつ規格を確認しながら選別していくので大変です。

また、自然を相手にしているので日照不足や雨不足などにより苗木の生育が大きく左右されるため、天候の変化には気を遣いますし、天候が全く同じ年は無いので日々勉強です。育てる樹木の特性や土壌の状態、肥料の成分、病気や害虫の事、それに対応した薬剤の事など幅広い知識も必要になってくるので、分からない事は同業者や研究機関からアドバイスをもらったりして対処しています。

仕事内容

最近では苗畑自体を知らない方が増えており、とても残念に思います。私の苗畑ではカラマツ、トドマツ、グイマツ雑種F₁の3種類の苗木を育てています。苗木は畑に種をまくところから始まり、出荷まで2~5年ほどかかるので、管理が大変な分苗木に対しては自分の子供のように愛着も湧いてきます。

山に植えられる苗木は種苗生産者が育てた苗木が使われており、私たちが森林を育てていく林業において、一番基礎となる重要な部門に携わっていると感じています。



【草取りは根気の要る作業の一つ】

胆振の魅力

海、山、湖があり、気候も温暖で過ごしやすく、農業も盛んなので新鮮な野菜やお肉、旬の果物なども毎日食べられます。また、アウトドアにも最適でキャンプ場や温泉もあり、景色もいのでロードバイクや、ツーリングも気持ちがいいですね。私の趣味はゴルフとウィンタースポーツで、ゴルフ場とスキー場も近くにあり大変便利です。これだけ良い条件が整っている地域は他にあまり無いと思います。

林業に興味を持っている方へメッセージ

デスクワークと違い、屋外で風や空気の匂いを感じながら身体を動かし、気持ちよく汗を流して、仕事が終わったら毎日美味しいビールが飲める、そんな自分らしく働ける生活を始めてみませんか?

林業は自分が手がけた結果が目に見える形となって返ってくるのでやりがいも感じますし、自分が関わった樹木はそこからがスタートとなり、子供や孫の代にも繋がっていく素晴らしい仕事だと思っています。